

6.4 各対策の達成状況

(1) 雨水浸透マスの設置基数

■ 達成状況

- ◇ 雨水浸透マスの設置基数について、市町によって設置基数に差がありますが、流域全体としては年あたり6,300基の目標値を超え、進捗率は175%となり、目標値を上回りました。
- ◇ 設置基数の集計方法について、市町によって設置の所管、実施方法が異なるため、実数での集計や、建築確認申請件数からの推計により行っていることから、流域全体で集計方法の整合を図る等の検討が必要であると考えられます。

表 6.2 雨水浸透マス設置基数(前年からの増加量)※栄町を含む

流域	第2期行動計画		現況 2015 (H27)	第2期行動計画での期間(年度)						合計 ※1 〔基〕
	2020(R2)年 までに 〔基〕	年当たり 〔基/年〕		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)		
	鹿島川流域	12,439		2,488	2,337	2,461	2,130	2,052	2,075	
高崎川流域			1,060	1,218	1,133	1,242	1,033	1,209	5,835	
手繰川流域			1,127	1,769	1,351	1,477	1,363	1,125	7,072	
神崎川流域			2,835	3,134	2,895	3,278	3,235	2,133	14,694	
桑納川流域			442	682	588	411	410	434	2,558	
新川流域			81	114	148	157	119	109	607	
師戸川流域			737	1,023	972	1,237	1,426	937	5,595	
西印旛沼直接流入流域			415	188	162	311	244	238	1,143	
北印旛沼直接流入流域			1,033	1,357	1,407	1,715	1,729	1,110	7,318	
流域全体	31,506	6,301	10,066	11,946	10,787	11,881	11,633	9,313	55,559	

市町	2020(R2)年 までに	年当たり	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	合計
千葉市	113	23	41	0	0	0	0	0	0
船橋市	4,060	812	739	1,066	931	707	585	687	3,976
成田市	595	119	40	57	71	108	56	49	341
佐倉市	10,989	2,198	2192 ※2	2,039 ※3	1,851 ※3	1,775 ※3	1,613 ※3	1,407 ※3	8,685
八千代市	953	191	68	126	143 ※5	143	80	102	594
鎌ヶ谷市	147	29	15	8	11	0	7	6	32
四街道市	9,548	1,910	2084 ※2	2,580 ※3	1,801 ※3	2,164 ※3	2,076 ※3	2066 ※3	10,687
八街市	1,083	217	395 ※3	498 ※3	501 ※3	554 ※3	494 ※3	546 ※3	2,594
印西市	1,284	257	3013 ※3	4,177 ※3	3,909 ※3	4,781 ※3	5,177 ※3	3,299 ※3	21,345
白井市	0	0	1050 ※3	669 ※3	603 ※3	639 ※3	587 ※2	279 ※2	2,777
富里市	1,602	320	88 ※4	325	444	404	331	428	1,932
酒々井町	1,133	227	286	295 ※2	415	500	555	370	2,135
栄町			56	105	106	105	72	73	461

※1：四捨五入の都合上、個々の値と合計の値が異なる場合があります。

※2：実際の設置基数が把握できないため、「建築確認申請件数」×「1件当たりの雨水浸透マス設置基数」から算出しています。

※3：※2の算出の際、建築確認申請件数が行政区間全体の値であったため、流域内の申請件数を流域人口比で推定しました。

※4：実績設置数が行政区間全体の値であったため、流域内の設置基数を流域人口比で推定しました。

※5：実績設置数が流域全体での調査結果であったため、流域全体人口比で設置数の推定をしました。

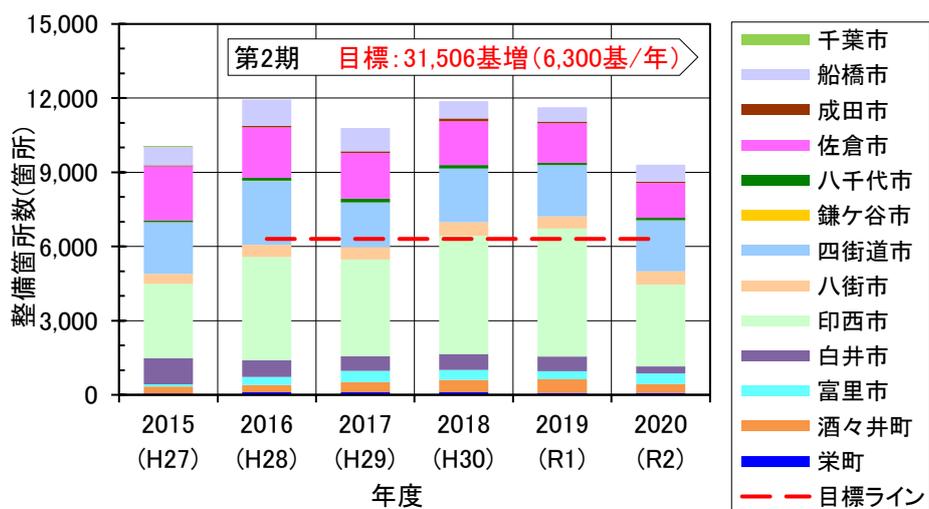


図 6.20 雨水浸透マス設置基数の推移

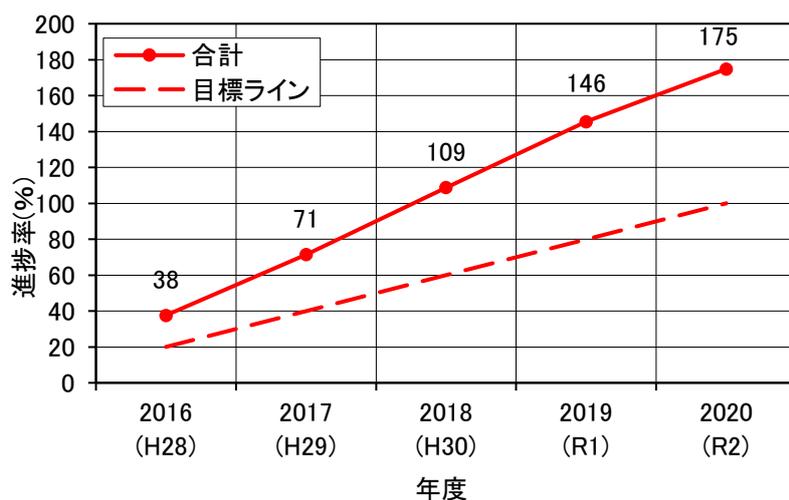


図 6.21 印旛沼流域の雨水浸透マス設置の進捗率 (栄町は含まない)

※データは、流域 13 市町提供資料より作成しています。

- ・実績の設置基数で回答：千葉市、船橋市、成田市、八千代市、鎌ヶ谷市、富里市、酒々井町、栄町
- ・建築確認申請件数で回答：佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市

(2) 貯留施設の整備貯留量

■ 達成状況

- ◇ 貯留施設の整備貯留量（箇所）について、市町によって実施有無の違いが見られましたが、流域全体として、年あたり258箇所の設置目標を超え、目標値を上回りました。

表 6.3 貯留施設の整備(前年からの増加量)※栄町を含む

流域	第2期行動計画		現況 2015 (H27)	第2期行動計画での期間(年度)						合計 ※1
	2020(R2)年 までに	年当たり		2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)		
	[箇所]	[箇所/ 年]	[箇所]	[箇所]	[箇所]	[箇所]	[箇所]	[箇所]	[箇所]	
鹿島川流域	11	2	41	13	2	5	41	11	72	
高崎川流域			16	30	52	32	64	55	233	
手繰川流域			9	32	20	9	64	94	219	
神崎川流域			3	67	42	6	8	11	134	
桑納川流域			105	57	168	52	180	104	561	
新川流域			36	16	31	82	88	45	262	
師戸川流域			0	1	2	3	4	16	26	
西印旛沼直接流入流域			1	2	2	4	3	15	26	
北印旛沼直接流入流域			6	6	10	15	14	110	155	
流域全体	1,291	258	217	224	329	207	466	461	1,687	

市町	2020(R2)年 までに	年当たり	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	合計
千葉市	0	0	32	11	1	1	33	7	53
船橋市	5	1	13	28	15	28	15	8	94
成田市	15	3	5	0	0	6	3	63	72
佐倉市	45	9	8	0	1	19	19	19	58
八千代市	1,136	227	131	84	234	110	313	221	962
鎌ヶ谷市	1	0.2	2	57	10	0	0	0	67
四街道市	0	0	8	1	0	0	0	0	1
八街市	0	0	0	2	0	0	0	0	2
印西市	0	0	0	8	12	16	20	90	147
白井市	0	0	0	0	0	0	2	0	2
富里市	85	17	16	30	52	25	43	43	193
酒々井町	0	0	1	1	3	1	18	9	32
栄町			0	1	1	0	0	0	2
千葉県	4	1	1	1	0	1	0	1	3

※四捨五入の都合上、個々の値と合計の値が異なる場合があります。

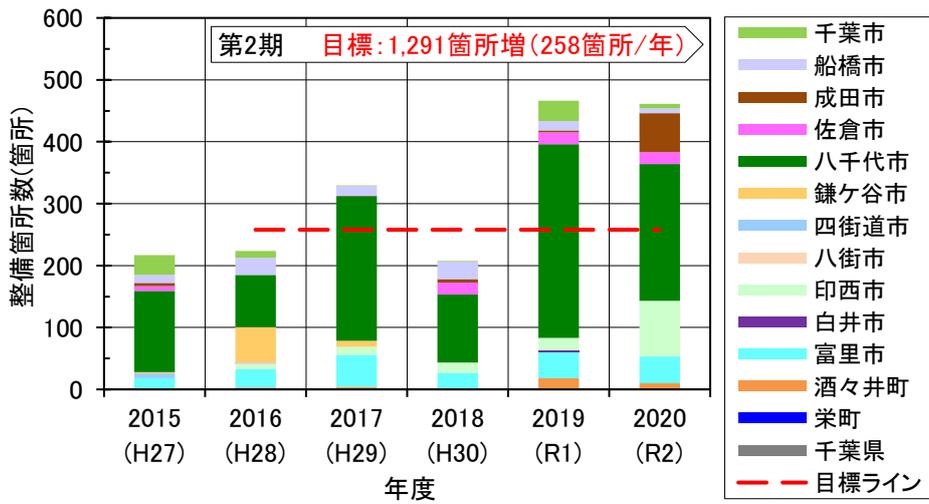


図 6.22 貯留施設の整備貯留量の推移

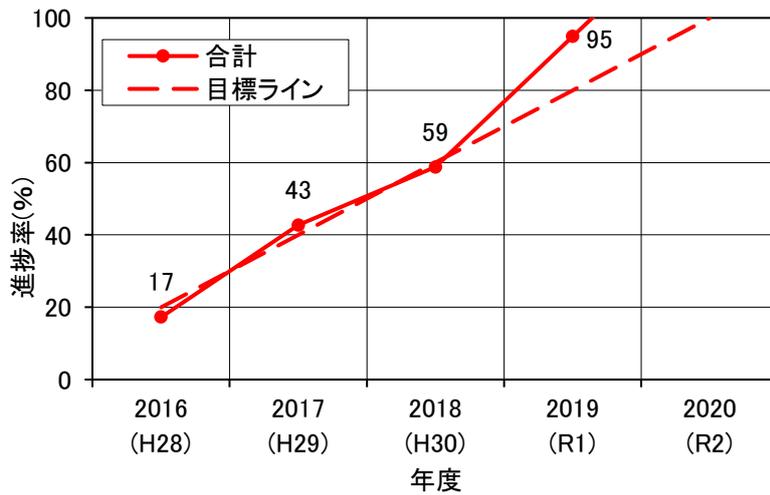


図 6.23 印旛沼流域の貯留施設設置の進捗率 (栄町は含まない)

※流域 13 市町及び千葉県土木事務所資料より作成しています。

(3) 調整池改良の実施数

■ 達成状況

- ◇ 第2期期間中の新たな調整池の改良の実施はありませんでした。
- ◇ 浸透WGでの取組として、市町と連携して協議や検討を行ってきました。その中で流域外の調整池で実施されましたが、流域内の調整での実施には現時点では至っていません。
- ◇ 住宅地等の開発地域の流末に設置される調整池による十分な流出抑制効果の発揮は、今後流域での治水対策に重要な位置づけになることから、新規設置や維持管理において、負荷削減効果も同時に発揮する調整池改良の推進を図っていくことが考えられます。

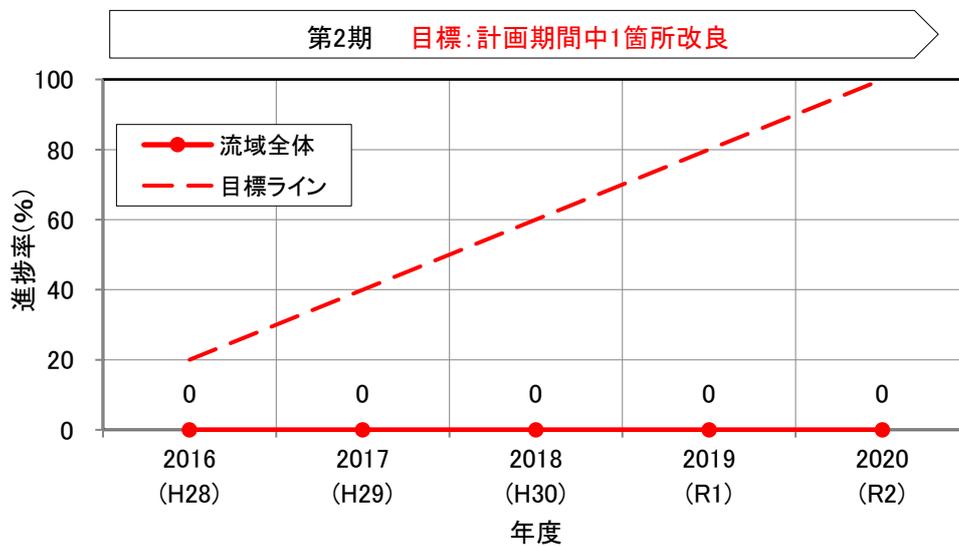


図 6.24 印旛沼流域の調整池改良実施の進捗率（栄町は含まない）

※流域13市町及び千葉県土木事務所資料より作成しています。

(4) 透水性舗装の整備面積

■達成状況

- ◇ 流域全体では、年あたりの整備面積を下回っていますが、2017(平成 29)年度の整備面積が多かったため、全体の進捗率は 89%となっています。2017(平成 29)年度の八千代市の大幅な増加は、西八千代北部特定土地区画整備事業で、歩道をすべて透水性舗装で整備されたことによるものです。
- ◇ 進捗率の高い市について、道路の新設や改良工事時に、歩道での透水性舗装の整備が実施されました。
- ◇ 透水性舗装は整備後、年月が経過すると塵埃等により目詰まりし、浸透効果が損なわれるため、定期的な清掃等、維持管理を実施することも必要です。

表 6.4 透水性舗装の整備面積(前年からの増加量)※栄町を含む

流域	第2期行動計画 目標値		現況	第2期行動計画での期間(年度)						合計 ※1
	2020(R2)年 までに	年当たり		2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	
	[m ²]	[m ² /年]	[m ²]							
鹿島川流域	22,588	4,518	1,588	1,052	10,168	2,909	3,982	875	18,985	
高崎川流域			750	66	1,198	1,696	251	1,416	4,627	
手繰川流域			586	468	3,082	158	2,261	0	5,969	
神崎川流域			2,265	3,837	2,164	1,629	1,927	666	10,223	
桑納川流域			3,145	2,367	54,824	589	326	701	58,807	
新川流域			848	0	57	0	0	115	173	
師戸川流域			13	0	152	0	0	308	460	
西印旛沼直接流入流域			2,041	0	601	191	0	273	1,065	
北印旛沼直接流入流域			2,951	2,835	3,129	2,113	3,163	6,723	17,962	
流域全体	123,191	24,638	14,187	10,625	75,375	9,285	11,909	11,077	118,270	

市町	2020(R2)年 までに	年当たり	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	合計
千葉市	8,561	1,712	1,347	743	4,413	993	1,078	0	7,226
船橋市	10,000	2,000	4,837	3,877	2,086	2,070	1,783	709	10,524
成田市	5,000	1,000	1,119	1,971	1,013	1,168	3,163	4,149	11,464
佐倉市	5,058	1,012	1,055	534	7,639	359	5,165	0	13,697
八千代市	0	0	843	0	52,880	0	0	0	52,880
鎌ヶ谷市	5,835	1,167	0	1,958	0	0	0	420	2,378
四街道市	5,931	1,186	0	0	0	1,906	0	0	1,906
八街市	0	0	0	309	0	0	0	0	309
印西市	12,825	2,565	72	129	2,515	108	0	1,757	4,509
白井市	1,900	380	530	158	285	40	440	56	979
富里市	39,980	7,996	0	0	172	1,696	251	286	2,405
酒々井町	6,750	1,350	1,475	864	1,439	945	0	2,671	5,919
栄町			0	0	242	0	0	0	242
千葉県	21,351	4,270	2,909	83	2,690	0	30	1,029	3,832

※: 四捨五入の都合上、個々の値と合計の値が異なる場合があります。

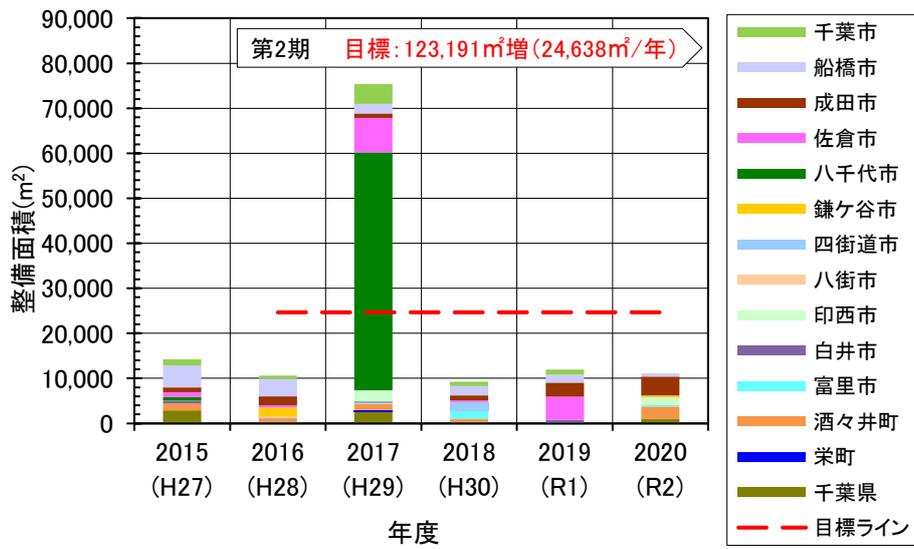


図 6.25 透水性舗装の整備面積

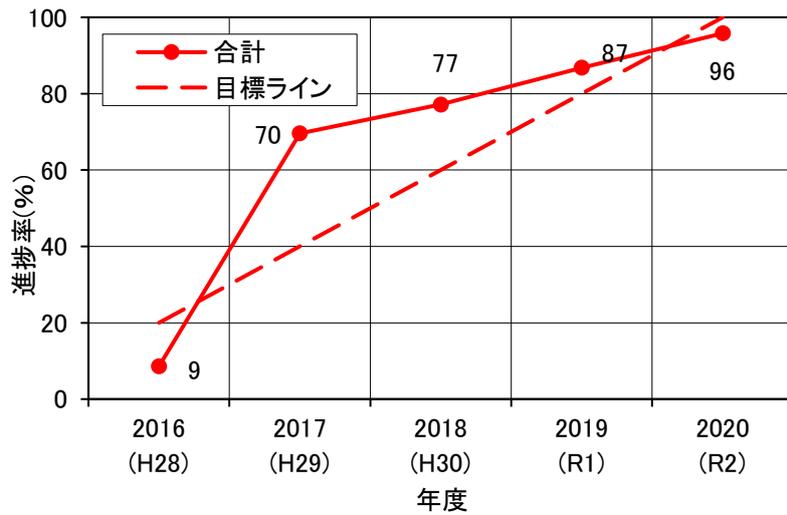


図 6.26 印旛沼流域の透水性舗装整備の進捗率 (柴町は含まない)

※流域 13 市町及び千葉県土木事務所資料より作成しています。

(5) 生活排水処理率

■ 達成状況

- ◇ 2020(令和2)の生活排水処理率注3は、流域全体で94.6%、進捗率は90.5%となっています。
- ◇ 生活排水処理率は、下水道計画の着実な実施により年々増加傾向にあるものの、進捗率の目標値はやや下回りました。

表 6.5 生活排水処理率

流域	流域総人口						生活排水処理人口						生活排水処理率					
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
鹿島川	148,597	149,039	148,063	146,864	146,875	147,568	132,050	133,109	133,988	133,666	133,664	134,841	88.9	89.3	90.5	91.0	91.0	91.4
高崎川	91,747	91,308	90,658	88,547	87,953	86,895	76,813	76,711	77,015	75,774	75,440	75,102	83.7	84.0	85.0	85.6	85.8	86.4
手繰川	112,009	111,982	111,918	111,904	111,558	110,773	106,239	106,250	106,441	106,651	106,439	106,778	94.8	94.9	95.1	95.3	95.4	96.4
神崎川	135,861	138,125	138,644	139,013	139,076	139,003	129,645	132,089	133,080	133,593	133,855	134,707	95.4	95.6	96.0	96.1	96.2	96.9
桑納川	127,356	128,857	130,977	132,733	134,932	137,255	122,470	124,294	126,719	128,570	131,088	133,752	96.2	96.5	96.7	96.9	97.2	97.4
新川	67,053	67,097	67,066	67,081	66,953	67,463	64,178	64,385	64,474	64,626	64,578	65,247	95.7	96.0	96.1	96.3	96.5	96.7
師戸川	14,960	15,389	15,860	16,919	18,424	19,432	14,612	15,046	15,529	16,592	18,101	19,120	97.7	97.8	97.9	98.1	98.2	98.4
西印旛沼直接流入流域	22,661	22,504	22,300	22,167	22,061	21,866	21,360	21,208	21,068	20,968	21,033	20,880	94.3	94.2	94.5	94.6	95.3	95.5
北印旛沼直接流入流域	63,301	63,845	64,201	64,424	64,674	64,157	59,340	60,009	60,670	61,031	61,380	61,039	93.7	94.0	94.5	94.7	94.9	95.1
合計	783,545	788,146	789,687	789,652	792,506	794,412	726,707	733,101	738,984	741,471	745,578	751,466	92.7	93.0	93.6	93.9	94.1	94.6

市町	市町別生活排水処理率					
	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
千葉市	93.0	93.1	95.8	95.9	95.3	95.4
船橋市	96.5	96.8	97.0	97.0	97.1	97.4
成田市	92.5	93.0	93.2	93.5	93.7	94.0
佐倉市	94.9	94.9	95.1	95.2	95.3	96.0
八千代市	94.5	94.7	95.0	95.3	95.7	95.9
鎌ヶ谷市	93.8	94.2	94.7	94.7	94.7	99.4
四街道市	92.3	93.1	93.6	94.0	94.1	94.9
八街市	72.8	72.9	74.5	75.4	75.5	75.9
印西市	96.7	96.8	97.6	97.8	97.8	98.1
白井市	95.1	95.3	95.5	95.6	95.8	95.9
富里市	77.8	79.4	80.2	80.6	81.9	83.0
酒々井町	95.9	95.9	95.9	96.1	96.3	96.5
栄町	-	93.6	94.2	94.8	95.3	未回答

注1 千葉県水質保全課が毎年実施している湖沼水質保全計画での指定地域内での下水道普及率の集計値を使用しています。

注2 第2期行動計画では、流域の汚水処理人口を把握、目標とするため、第1期行動計画の下水道普及率及び高度処理型合併処理浄化槽利用人数を変更し、生活排水処理率としています。

注3 生活排水処理率：下水道処理人口(流域下水道及び公共下水道の水生化人口) + 農業集落排水施設処理人口 + 合併処理浄化槽

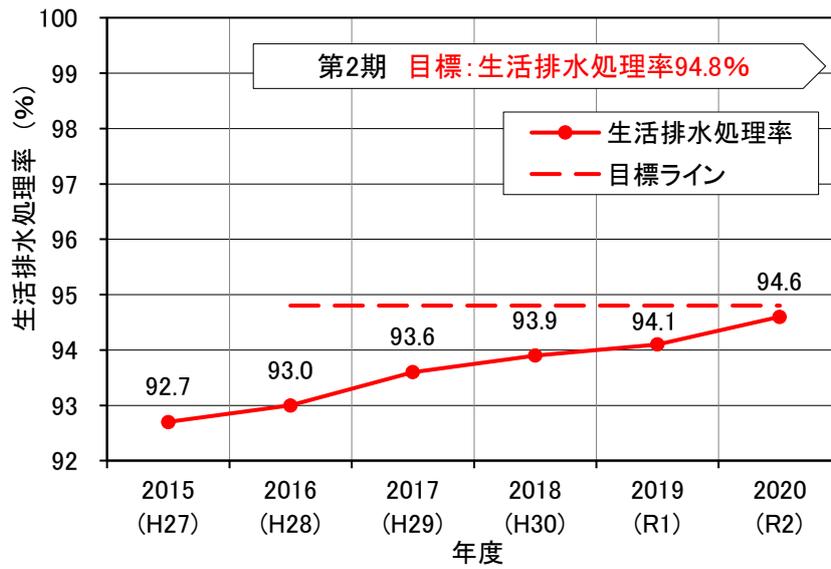


図 6.27 印旛沼流域の生活排水処理率（栄町は含まない）

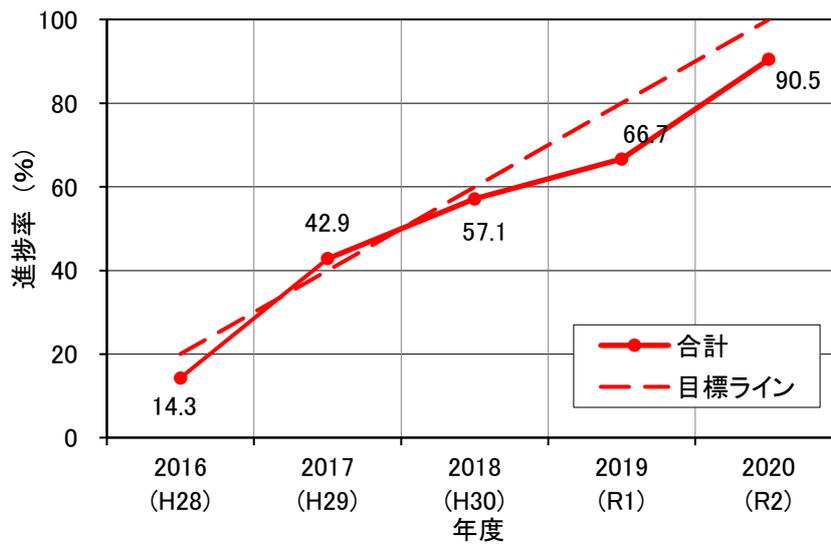


図 6.28 印旛沼流域の生活排水処理率の進捗率（栄町は含まない）

※栄町及び千葉県水質保全課資料より作成しています。

(6) ちばエコ農産物の認知度

■ 達成状況

- 富里市ではちばエコニンジンキャンペーンなど、JA 富里市と協働して、PR 活動等を展開してきた等により、2019(令和元)年 11 月 17 日の富里市産業まつりで、2019(令和元)年度のちばエコ農産物の認知度を調査した結果、52.2%であり、2016(平成 28)年度と比較して 9.8%上昇しました。

<2019 (令和元) 年実施概要>

項目	内容
目的	ちばエコ農産物およびその印旛沼とのつながりに関する認知度向上 第 2 期行動計画の取組指標「ちばエコ農産物の認知度」の 3 年目における中間評価
取組	富里市産業まつりに出展し、ポスターによる PR とアンケート調査を実施
場所	富里市役所敷地内
期間	2019(令和元)年 11 月 17 日 (日)



PR 用ポスター



アンケートの様子

<成果>

- 富里市産業まつりにおいて約 408 名に PR およびアンケート実施
 - 「ちばエコ農産物」の認知度は 52.2%と、2016(平成 28)年度と比べて 1.2 倍に上昇し目標を達成 (2020(令和 2)年度の目標値は平成 28 年度比 1.2 倍)
 - 「ちばエコ農産物が水質改善につながる」との認知度は 43.4%とやや低下
- ※2020 (令和 2) 年度の富里市産業まつりは、コロナ過により中止のため、2019 (令和元) 年度までの結果を記載しています。

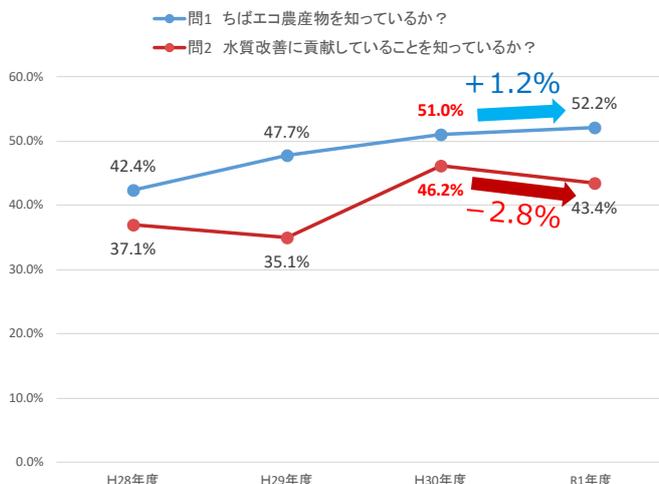


図 6.29 富里市産業まつりでのアンケート調査における、ちばエコ農産物の認知度等の推移

(7) 水辺エコトーン再生

■ 達成状況

- ◇ 環境学習、モニタリング等を通じて市民・市民団体と連携しつつ、系統維持（印旛沼固有の種を絶やさない取組）を実施してきました。
- ◇ 千葉県立中央博物館では、水草を次世代につなぐため「系統維持」を継続的に行ってきました。系統維持とは、植生帯整備等、かつて印旛沼で繁茂していた水草を再生・復活させ、それを維持する取組です。かつて印旛沼で繁茂していた水草を守り、種子を生産させることで、印旛沼固有の水草を守る大切な取組の一つです。
- ◇ 印旛沼の水質形成機構を踏まえて、水辺エコトーンの再生に向け、印旛沼水質改善技術検討会・水質改善工法検討WG・水草再生WG 合同会議で整備方法の確立に向けて取り組みました。
- ◇ 水辺エコトーン再生の一環として、水質改善を目的に実施した底泥浚渫の浚渫土を活用した植生帯の整備を実施しました。
- ◇ 浚渫土を活用した水辺エコトーンの再生は、実施可能であることを確認しました。今後は整備後の状況を植生繁茂状況も含めてモニタリングにより確認を行い、効果の検証等を実施していくことが必要となっています。



図 6.30 浚渫を組み合わせた水辺エコトーン再生のイメージ



図 6.31 浚渫土を活用した植生帯の整備

(8) 特に重要な箇所における保全・再生取組箇所数

■達成状況

- ◇ 多様な主体と連携しながら自然や環境と調和した地域づくり（エコロジカルネットワークの形成）を目指して、魚道の整備検討による水域ネットワークの断点解消、植生帯整備、ナガエツルノゲイトウをはじめとした外来植物管理等を実施しました。

(9) ナガエツルノゲイトウによる実害の解消

■達成状況

- ◇ 第1期行動計画において実施した、ナガエツルノゲイトウ協働駆除作戦（神崎川、桑納川）を継続して、ナガエツルノゲイトウの適正管理を進めましたが、大和田排水機場でのナガエツルノゲイトウの除去を行い、年度によりその量は異なりますが、排水ポンプへのリスクはあることが考えられます。
- ◇ 2020(令和2)年度は、大和田排水機場運転が未実施であったことと、ナガエツルノゲイトウ協働駆除作業も未実施であったことから、神崎川桑納川でナガエツルノゲイトウの繁茂が見られていますが、ナガエツルノゲイトウによる排水ポンプの一時停止等の実害は発生していません。

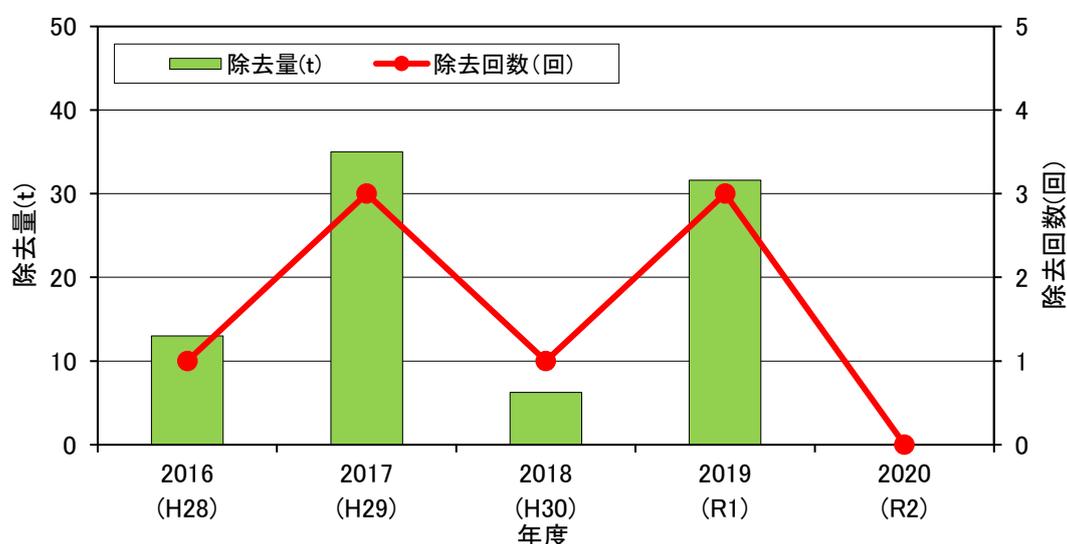


図 6.32 大和田排水機場におけるナガエツルノゲイトウの除去状況

※水資源機構資料より作成しています。

(10) 河道整備延長

■ 達成状況

- ◇ 河道整備について、流域全体としては、112%の進捗でした。
- ◇ 特に2020(令和2)年度の整備量が多く、鹿島川、高崎川、桑納川、西印旛沼を中心に河道整備が行われました。

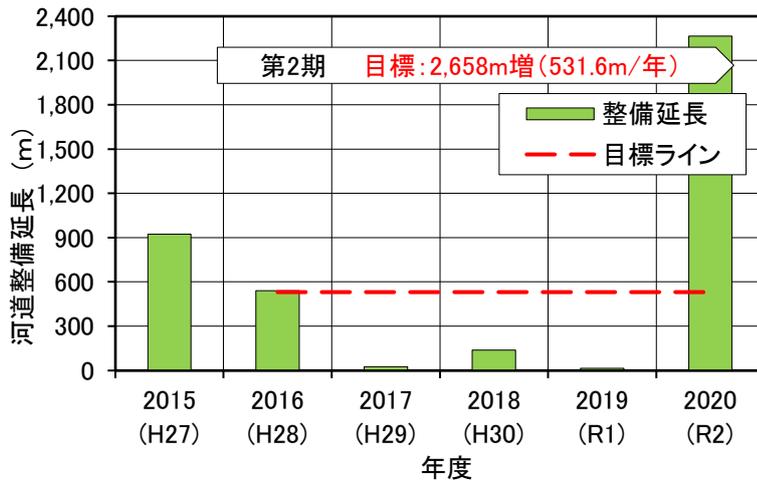


図 6.33 各年度の河道整備延長

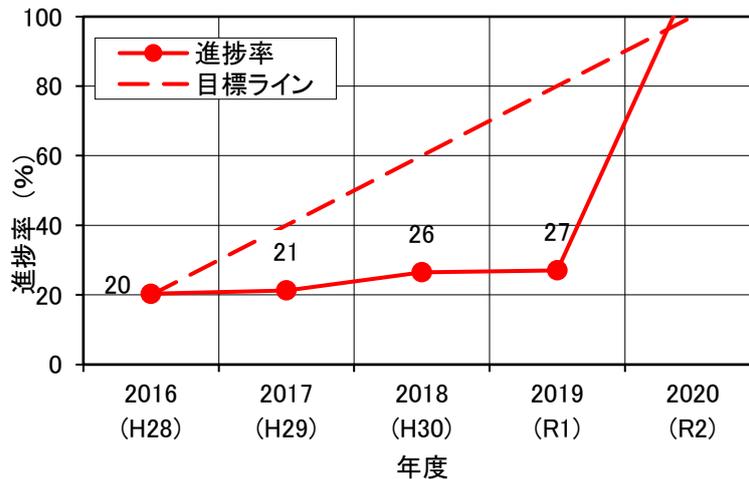


図 6.34 印旛沼流域の河道整備の進捗率

※流域 13 市町及び県土木事務所からの回答を元に作成しています。

(11) 水辺拠点等の整備箇所数

■ 達成状況

- ◇ 印旛沼流域かわまちづくり計画は、令和4年度を目標に計画期間及び内容が変更され、一里塚（ミニ拠点）整備（20箇所⇒8箇所）、水辺拠点整備（1箇所及び構想案4箇所⇒2箇所）に見直しされました。
- ◇ 第1期計画中に1箇所（西印旛沼水辺拠点）が整備され、第2期2016(平成28)年からは一里塚の整備が開始されました。「飯野」の船着き場等の整備が完了し、2020(令和2)年は「舟戸」「八代」「阿宗橋」と順次整備を実施しました。
- ◇ 飯野では、階段護岸の整備と船着き場の整備により、親水性の向上や佐倉ふるさと広場からの舟運と結節し、観光施設（サンセットヒルズ）等と連携した水辺の活用が可能となっています。



▲「かわまちづくり計画」による水辺拠点の整備イメージ

図 6.35 水辺拠点等の整備状況



(12) ソフト施策の実施数

■ 達成状況

- ◇ 印旛沼流域かわまちづくり計画に位置づけられる 11 のソフト施策のうち、2020(令和 2)年度は 3 施策が実施されています。

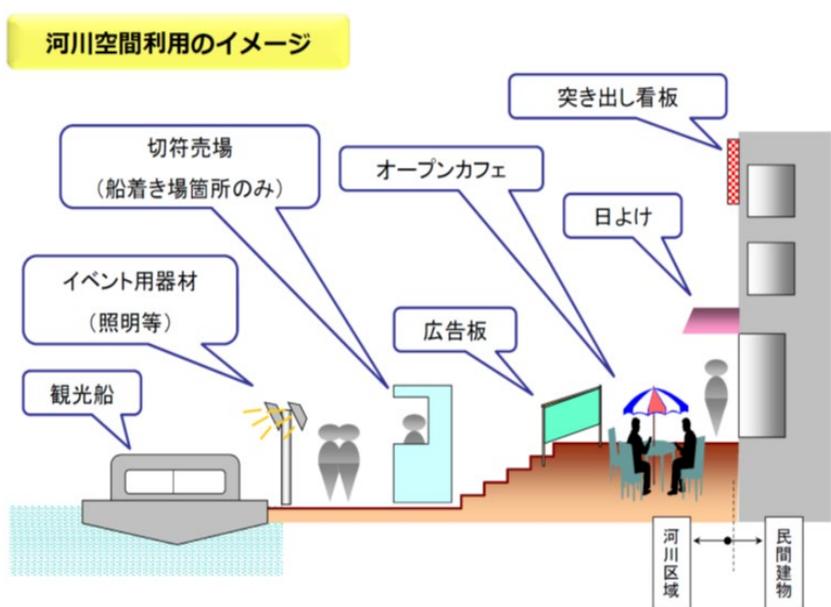
表 6.6 ソフト施策の実績

かわまちづくり計画に位置付けられたソフト 施策 (11 施策)		実施状況	
		有無	2020(令和 2)年度の実施内容
既存利活用プログラム・イベントとの連携及び活用	1 マラソン大会における印旛沼の広報	○	・ B.B.BASE 臨時列車の運行 (2020(令和 2)年 10 月から J R 佐倉駅に停車する定期運行が決定、佐倉駅から両国駅周辺を巡るモニターライドの実施)
	2 民間企業と連携したアクティビティ・イベントの開催	-	
新規利活用プログラム・イベントの開発	3 印旛沼ダムカードの配布	○	・ ふるさと広場管理棟「佐蘭花」にて配布
	4 健康プログラムの開発・普及	-	
	5 最新アクティビティの導入・新規イベントの開催	○	・ シェアサイクルを道の駅やちよ(ふるさとステーションと農業交流センター)に導入
情報発信の強化・充実	6 アクティビティ・コースマップのプラットフォームの設置	-	
	7 地域資産の情報発信のパッケージ化	-	
	8 広報に関する企業等との連携強化	-	
印旛沼流域の魅力・ブランド力の強化	9 景観のブラッシュアップ	-	
	10 水辺のカフェ等の導入		
	11 印旛沼八景の選定及び活用	-	
実施施策の合計：		3	

(13) 河川敷地の占用件数

■ 達成状況

- ◇ 印旛沼流域かわまちづくり計画では、水辺拠点等のハード整備や地域と連携したソフト施策の実施を進めてきました。
- ◇ その中で、更なる水辺空間の利用を図るため、河川敷地占用許可準則の一部改正に伴い実施が可能となった商業利用を目的とした河川敷地の占用[※]を推進しています。
- ◇ 2020(令和2)年度現在の占用件数は0件で、今後積極的な利用に向けて関係者との連携を進めていきます。



占用許可の基本方針

➤ 地域の合意が図られていること。

協議会の活用等(※)により、以下の事項について、地域の合意が図られていること。

- ・ 区 域 : 治水上・利水上支障のない区域を指定(都市・地域再生等利用区域)
- ・ 占用方針 : 施設、許可方針(許可条件)
- ・ 占用主体 : 公的主体のほか、営業活動を行う事業者等も可能

➤ 通常の占用許可でも満たすべき基準に該当すること。

- ・ 治水上及び利水上の支障がないこと、他の者の利用を著しく妨げないこと、河川整備計画等に沿うものであること、土地利用の状況・景観・環境と調和したものであること

➤ 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

※協議会によること以外にも、地元市町村があらかじめ河川管理者と協議の上、都市再生特別措置法(平成14年法律第22号)第46条第1項に規定する都市再生整備計画に河川敷地の利用について定めていること、地元市町村の同意があることなど、地域の合意が確認できる幅広い手法によることができる。

12

出典：国土交通省 河川のオープン化について

(14) 水環境をテーマとした環境学習実施学校数

■ 達成状況

- ◇ 水環境をテーマとした環境学習実施学校数は、第2期行動計画の初年度である2016(平成28)年(74校)以降、年々減少しています。2020(令和2)年度は、小学校で42校、中学校で2校、計44校となっています。
- ◇ 学びWGにおいて作成した、「印旛沼環境学習指導案集」は、学校・教員の負担を小さくし、かつ既存の授業に組み込むことができる指導案としています。今後はこれを周知・活用して、環境学習をさらに推進していくことが考えられます。

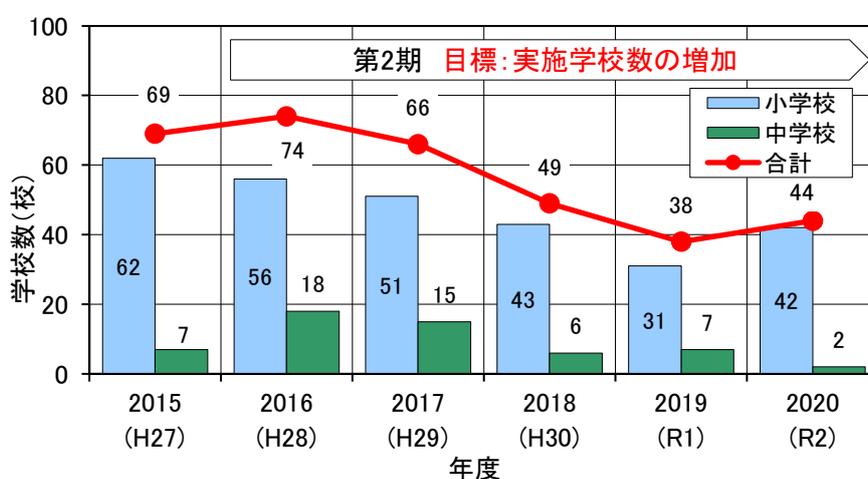


図 6.36 水環境をテーマとした環境学習実施学校数

※流域13市町(各市町の教育委員会)及び千葉県水質保全課資料より作成しています。

※環境学習の内容として、水辺の自然観察、水質調査、河川等の清掃、歴史・変遷、教室内での観察・実験、その他(観光船での観察会等)を設定して調査しています。

(15) 流域で開催されるイベントとの連携による広報の件数

■ 達成状況

- ◇ 流域で開催されるイベントとの連携による広報は、2019（令和元）年度までは、ほぼ目標値通りの件数でしたが、コロナ禍により、2020(令和2)年度は各自治体でイベントが中止となったため、件数は0件でした。
- ◇ コロナ禍の影響を受けた2020(令和2)年度を除けば、概ね目標値を達成しています。

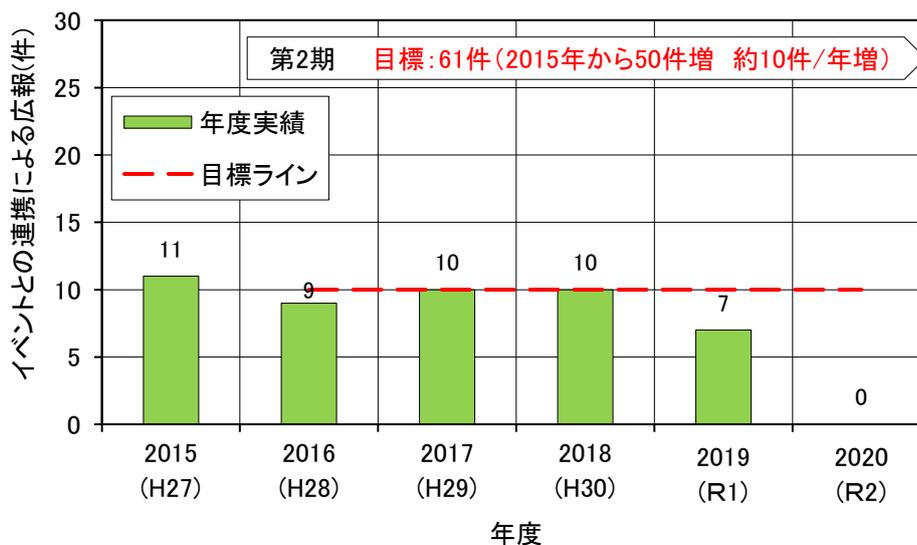


図 6.37 印旛沼流域で開催されるイベントとの連携による広報の件数

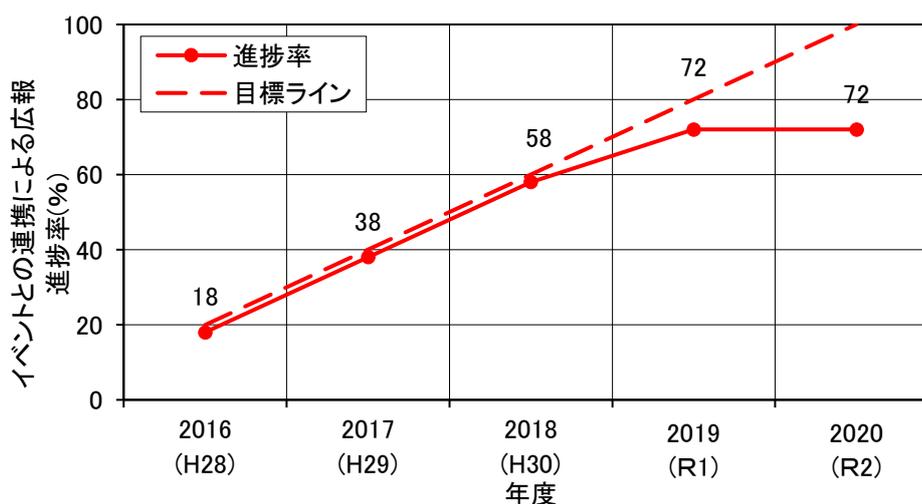


図 6.38 印旛沼流域で開催されるイベントとの連携による広報件数の進捗率

※千葉県河川環境課資料より作成しています。

(16) WEB サイトいんばぬま情報広場のアクセス件数

■ 達成状況

- ◇ 2010(平成 22)年度は WEB サイトの大幅リニューアルを行ったため、2009(平成 21)年度と比較してアクセス数が約 2.0 倍に増加しました。その後、横ばい傾向となり、2013(平成 25)年度以降は再び増加し、2018(平成 30)年度は目標を達成しましたが、2019(令和元)年度は減少、2020(令和 2)年度は再び目標を達成しました。
- ◇ 2020(令和 2)年度は、4,188 アクセス/年となっており、8 月以降は 4,000 アクセス/月の目標を達成し、10 月には 5,183 アクセス/月となっています。
- ◇ コロナ禍により各種イベントが中止されており、例年のアクセス数増加要因とは異なり今年度のアクセス数増加要因は推定できませんが、第 1 回緊急事態宣言解除(5/25)以降アクセス数が増加しています。

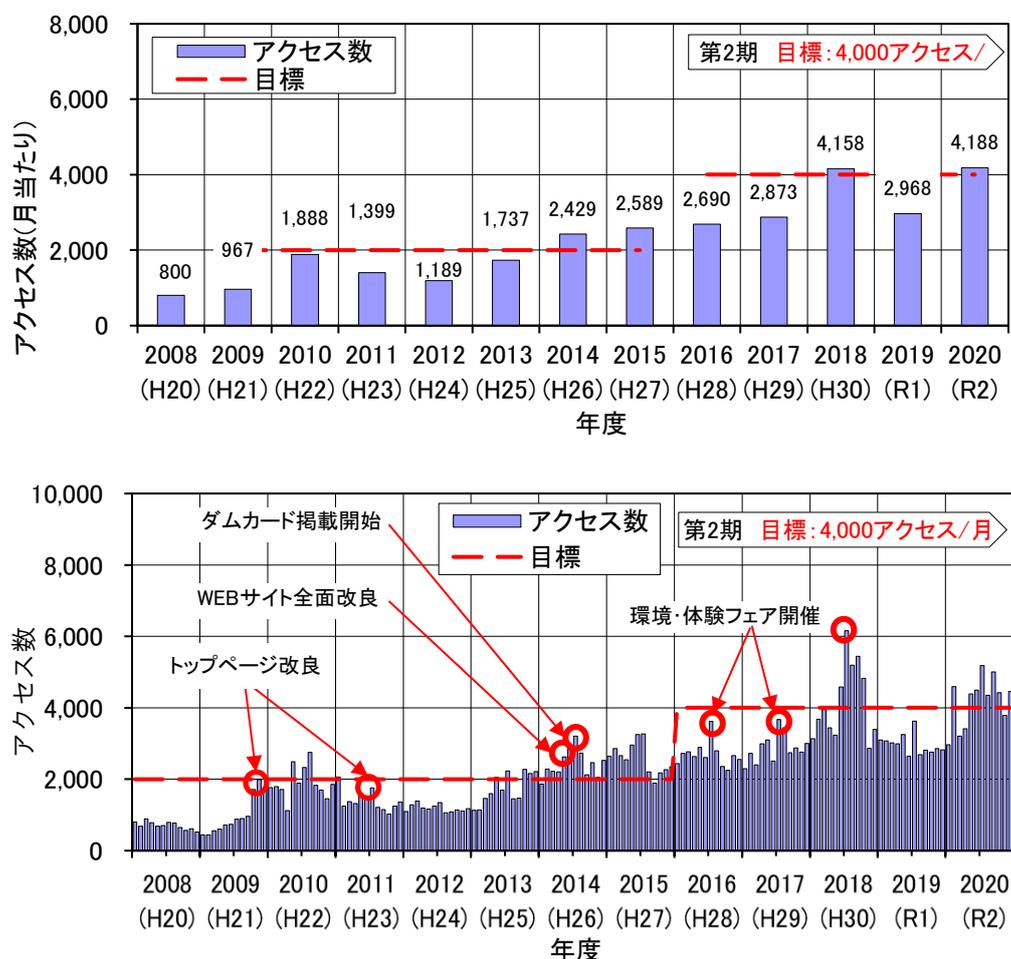


図 6.39 Web サイトいんばぬま情報広場アクセス数の推移

※千葉県河川環境課資料より作成しています。

(参考) 第1期行動計画の取組の実施状況 (第2期行動計画では位置づけられていない指標)

(17) ちばエコ農業による取組耕作面積

◇ ちばエコ農業の取組耕作面積は、2011(平成23)年度以降、増加、減少を繰り返しながら、全体的には減少傾向にあり、2020(令和2)年度は538haでした。

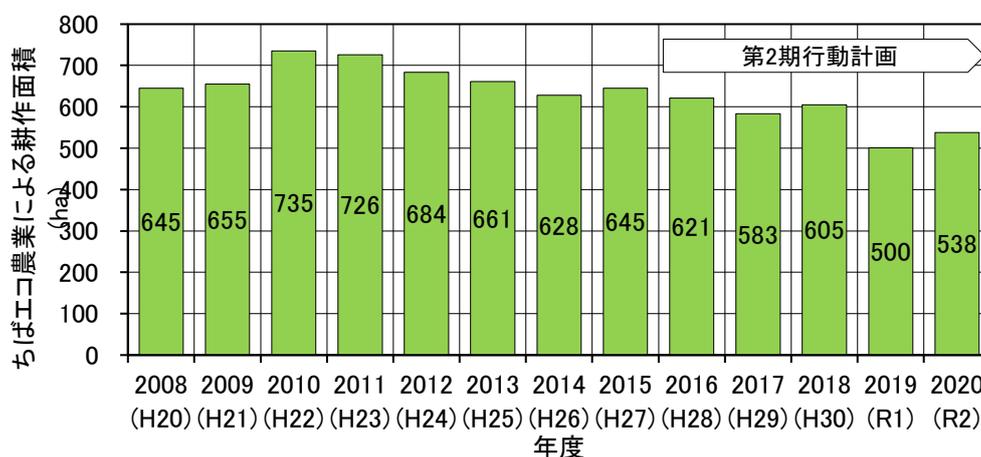


図 6.40 ちばエコ農業による取組耕作面積の推移

(18) エコファーマー認定件数

◇ エコファーマー認定件数は、2009(平成21)年度以降、減少傾向となっており、2020(令和2)年度は234件となっています。

◇ なお、2019(令和元)年度の大規模減少の要因は、エコファーマーの認定期間は5年で、再認定手続きが行われなかったこと等により、認定件数が大幅に減少しましたが、2020(令和2)年度には増加しました。

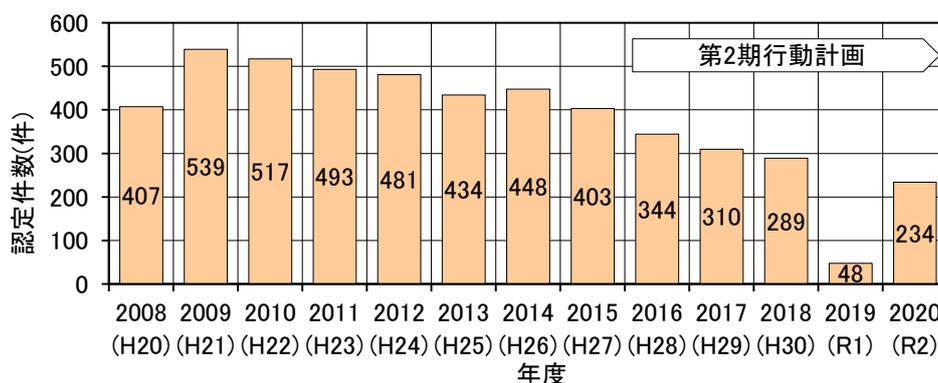


図 6.41 エコファーマー認定件数の推移

※認証耕作面積・認定件数については、印旛沼流域内での集計ができないため、流域15市町村(現在は13市町)の行政区域内での総数としています。

(19) 植生帯整備面積(延長)

■ 達成状況

- ◇ 2020(令和2)年度は、西印旛沼で99mを整備しています。
- ◇ 第2期行動計画では整備面積の目標値は定められていませんが、効率的な植生帯の整備手法の検討や現地実証等を行いました。
- ◇ また、第1期行動計画で整備された植生帯箇所において抽水植物への遷移等が進み、維持管理が必要な状況となっています。

表 6.7 植生帯整備実績(事業実施延長)

		基準年	第1期行動計画での期間							第2期行動計画での期間				
		2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)
実績	年実績値(m)	760	375	0	360	60	270	100	160	100	60	416	336	99
	期累計(m)	760	1,135	1,135	1,495	1,555	1,825	1,925	2,085	100	160	576	912	1,011
	全期累計値(m)	760	1,135	1,135	1,495	1,555	1,825	1,925	2,085	2,185	2,245	2,661	2,997	3,096
目標	目標値(m)	—	8,000							—				
	年率(%)	0	14	29	43	57	71	86	100	20	40	60	80	100
進捗率	基進捗(%)	0	5	5	10	11	15	16	18	—				

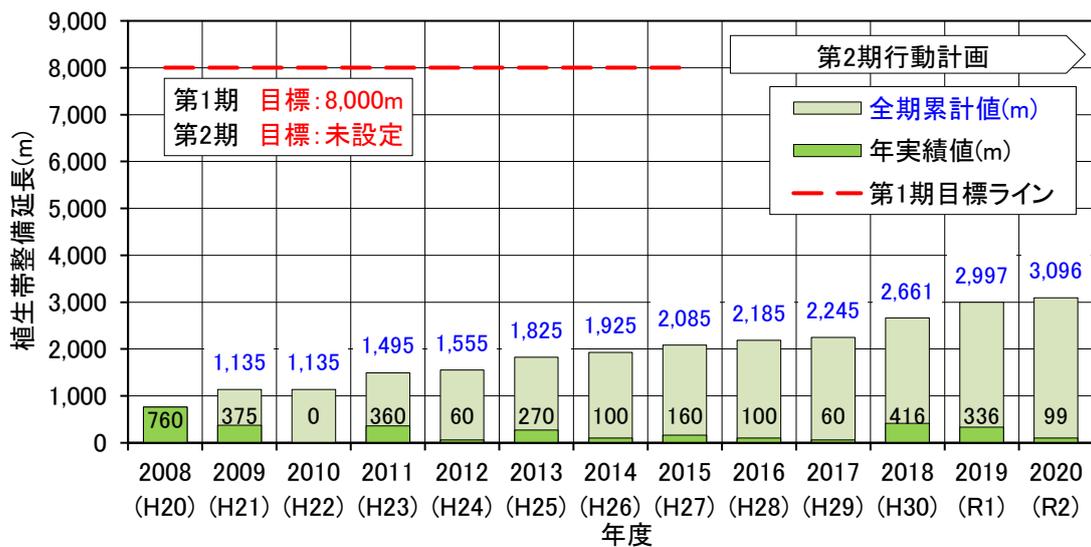


図 6.42 植生帯整備実績

※千葉県河川環境課・千葉県土木事務所からの資料より作成しています。

印旛沼流域水循環健全化計画

第3期行動計画

2022年3月 初版発行

印旛沼流域水循環健全化会議 事務局

千葉県

県土整備部 河川環境課

TEL : 043-223-3155

環境生活部 水質保全課

TEL : 043-223-3821

URL : <https://inba-numa.com/>

